



華麗に 舞おう

鏡張りのスタジオで、
バーを使ってウォーミン
グアップをしている松
下バレエスタジオ(夕陽
ヶ丘36-5)の生徒た
ち。平塚市文化祭に向
けて、練習に取り組ん
でいます。

目次

1～3面…**特集** 文化を楽しむ…日常生活を豊かにする文化活動。平塚市文化祭に向けて練習に取り組む平塚市文化連盟の加盟団体などを紹介します。
4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉

8面…「ひらつかTopics」「市長コラム」
広報ひらつかのPDF版は市ウェブからご覧いただけます。
アプリ「マチイロ」や「Catalog Pocket(10言語対応)」からも最新版がご覧いただけます。



ドレミ倶楽部



音楽



8月25日、旧横浜ゴム平塚製造所記念館(八幡山の洋館)に、リンリンとミュージックベルの明るく澄んだ音色が響きます。ミュージックベルを楽しむ団体「ドレミ倶楽部」が、市文化祭で演奏する曲を練習しています。ミュージックベルは、誰でも気軽に演奏できるベルとして、日本で生まれた楽器です。

藤吉公子さん(左写真)が

ベルが奏でる美しい音色

ミュージックベルをより多くの人に楽しんでもらいたいと立ち上げたのがドレミ倶楽部です。活動を始めたきっかけは、同館でのイベント。藤吉さんを含め、ミュージックベルの指導者たちがコンサートをしたときに、お客さんに体験してもらったところ、とても良い反響があったと振り返ります。月に一度、同館でドレミ倶楽部のメンバーにミュージックベルを教えています。

ミュージックベルの内側には、クラッパーという振り子がバネの先に付いていて(右下写真、ベルを振るとクラッパーが鐘に当たり音が鳴りま



す。よく比較されるハンドベルは、音によって鐘の大きさが違う他、鳴らし方にコツが必要で、ミュージックベルは振るだけで音を鳴らせるので、子どもでも楽しめます。

アンサンブルが魅力

一人一人が、同じ大きさ、同じ形の楽器を持つのもミュージックベルの特徴で

す。「1人で曲を演奏するのはなく、2人以上で、簡単にアンサンブルを楽しめるのも魅力です」と藤吉さんは語ります。

市文化祭での発表を意識し、演奏曲の練習を始めたのは7月から。ドレミ倶楽部としては、今年が初めての参加です。舞台での発表という目標に向かって、練習に励んでいます。

演奏中は、奏者全員で一体感をもって演奏します。担当のところだけ考えていると出遅れてしまうので、曲全体の流れを感じながら演奏するのがポイントだと言います。「市文化祭当日は、演奏を楽しんでいるところに注目していただきたいです。美しい音色をぜひ聴きにきてください」。

文化を 楽しむ

11月12日(日)まで、平塚市文化祭が中央公民館などで開かれています。今号では、市文化祭に向けて練習に取り組んだり作品を描いたりしている3団体を紹介します。文化・芸術に触れて、新たな発見をしてみませんか。

☎ 社会教育課 ☎ 35-8123

文化の魅力を伝える機会

「市文化祭を通して、市民の皆さんに文化・芸術に親しんでいただきたいですね」と、平塚市文化連盟会長の加藤宏さん(左写真)は穏やかにほほ笑みます。同連盟は昭和28年に創立。音楽や絵画、洋舞などの文化活動に取り組む19団体で構成されていて、市文化祭には開催当初から運営など



に携わってきました。市民の創作・発表の場として開かれる市文化祭は、コンクールなどは違い、文化・芸術を楽しんでもらうことに重きを置いています。「市民の皆さんが楽しめるのが一番です」と、加藤さんは笑顔を見せます。

平成31年から会長を務める加藤さん。役職や経験年数などにとらわれないことなく、コミュニケーションを大切に、楽しく活動ができるような環境づくりを心掛けてきました。「便利な社会になった一方で、自分を見つめる機会が少なくなっていると思うん

歴史ある文化の祭典

です。美術関係の展示や舞台発表などの種類を問わず、文化活動は自分自身を見つめる機会を与えてくれます」と、文化活動の魅力を話します。

「たくさんの人と知り合い関わることで、自分の居場所が新たにできるのもメリットだとか。さまざまな考え方の人と出会えるので、社会の見方が変わります。私も絵画の活動をしている中で非常にプラス

になっていると感じていますね」とこぼす。思っているよりも文化活動を始める敷居は高くないと加藤さん。普段の生活にプラスして、何かしらの遊びを持つことは人生が豊かになる、と自身の経験を語ります。

「市文化祭は、さまざまな文化・芸術に触れられる良い機会です。気軽に会場へ足を運んで、楽しんでくださいね」

「日頃の取り組みの成果を思い切り発揮してほしいです」と話すのは市社会教育課の吉水伶奈(右写真)主事。市文化祭の日程調整をはじめ、施設の予約や市文化連盟

との連絡・調整などを担当しています。平塚に文化・芸術を普及させるために、多くの人に市文化祭を知ってもらいたいと主張します。

第1回市文化祭が開かれた

のは、昭和28年。展示会や舞台発表など、12部門で開かれました。71回目を迎える今年、19部門で開かれます。新型コロナウイルスの影響で、昨年までは一部舞台発表の中止などがありました。今年も新型コロナウイルスの流行前とほぼ同様に開かれます。

開催期間中は市内3施設で展示会や舞台発表などがあります(左表)。「市文化祭に出る人も見る人も、文化・芸術への興味をさらに深めてほしいですね」と思いを語ります。



部門	日時	会場
奇術	10月29日(日) 午後1時30分～4時	① 小ホール
洋舞	10月29日 午後4時～8時	① 大ホール
茶会	11月3日(祝) 午前10時～午後2時	① 和室・3A会議室
音楽	11月4日(土) 午後2時～6時30分	① 大ホール
民謡	11月5日(日) 午後1時～4時30分	① 大ホール
ビデオ映画	11月12日(日) 午後1時30分～4時15分	② ミュージアムホール

松下バレエスタジオ



洋舞



9月下旬の松下バレエスタジオ(夕陽ヶ丘36-5)に、クラシック音楽の優雅な音色が響きます。生徒たちが、バレエレッスン(一面)に続けて、市文化祭で披露する踊りを練習しています(上写真)。

昭和38年に同スタジオでバレエを教え始めてから、今年で60年目になる松下浩子さん(左写真)。「美しい音楽に合わ

気持ちを高めて

「前向きに練習に取り組み時間が最も充実し、技術的に

せて踊るのはとても気持ちが良いものです。体を動かすので、間違いなく健康にもつながりますね」とバレエの魅力を語ります。

現在、同スタジオでは3歳から大人まで、およそ60人の生徒がバレエを練習しています。「国内外のコンクールで活躍している生徒や、平塚でスタジオを持つ先生として活動している教え子もいるんですよ」と松下さん。市文化祭には、指導を始めた当初から毎年参加しています。



も伸びるんです。短期間で完成度の高い作品を作り上げるポイントですね」と、松下さんは力を込めます。とにかく練習に集中して、本番に向けてモチベーションを高めていくのが一番大切だと言います。生徒のモチベーションを高めるためには、指導者としての心構えも大切なので、気持ちを込めて教えていると、

練習し、皆さんに楽しんでいただける市文化祭にしたいです。

今日も、本番に向けて生徒たちが練習に励みます。

松下さんは話します。

今年の市文化祭には、平塚洋舞連合会として、松下バレエスタジオを含む三つのスタジオが参加します。市文化祭をきっかけに、もっと多くの人にバレエに興味を持ってもらいたいと松下さんは語りま

市文化祭開催

スケジュール

会場は、①中央公民館 ②美術館 ③ひらしん平塚文化芸術ホール。迫力ある舞台発表や、文芸大会をお楽しみください。

またか絵画教室



絵画

毎週金曜日の午後、豊田地区町内福祉村(南豊田38)に油絵具の匂いが漂います。9月15日午後3時、またか絵画教室のメンバーは筆を持つ手を休め、市文化祭に出展する絵を並べ始めました。「屋根の色がすてきだね」「葉っぱの色を濃くした方が目立って良いね」など、和気あいあいと意見を話し合います(上写真)。

同教室は、実在する物を書く具象画を描く3人と、具体的な対象を描かず、色や線などで表現する抽象画を描く2人の全5人で活動。現在は、教室としてではなく、絵画サークルとして絵を描いています。毎年市文化祭に出

思わぬ線が重要に

同教室代表の小木曾富士江さん(右写真)は、勤めていた



品していて、今年も全員が作品を出展します。約半年かけて作品を仕上げてきました。

会社を退職してから絵を描き始め、30年以上に渡って活動を続けています。

「絵を描いているときは、息をするのも、お昼ご飯を食べるのも忘れるくらい夢中になってしまいます」と目を輝かせる小木曾さんは、どこかで見た景色や物事を思い出して、それらを頭の中で結び付けて描いているそうです。新しい絵を描くために前の作品を塗りつぶす工程で、偶然生まれた筆の線を生

かして新しい絵を描くこともあると言います。「うまく描こうと狙った線が、結果的に要らなかつたり、いい加減に描いた線が後々大事なポイントになったりすることもあるんですよ」と、抽象画の面白さを笑顔で語ります。

作品を描く過程を想像しながら市文化祭の展示を見るのも、新たな絵画の魅力発見につながるかもしれません。



部門	日時	会場
写真・絵画・彫刻	10月17日～22日(日)、午前9時30分～午後4時50分(22日は3時30分まで)	② 市民アートギャラリー
華道	10月21日(土)～22日、午前10時～午後5時(22日は4時まで)	③ 多目的ホール
短歌	10月21日正午～午後4時	① 大会議室
吟詠・剣詩舞道	10月28日(土)午後1時～4時30分	① 大ホール
俳句	10月28日正午～午後4時	① 大会議室

広告でPR しませんか

庁用自動車

ワンボックスの軽自動車左右両側面に、縦50センチ×横70センチの広告を、特殊フィルムなどで貼ります。掲載期間は、令和6年2月1日(木)から1年間。5台分で10万円。屋外広告物許可申請や広告の作成・貼付は、広告主がしてください。申し込み件数により、協議の上で台数の調整や抽選をする場合があります。申し込みに当たり、市広告掲載要綱・市車両広告掲載取扱要綱を確認してください。



募集 広告案・市ウェブにある申込書を、郵送・メールまたは直接、令和5年11月1日(水)～21日(火)に、本館5階の庁舎管理課 ☎21-9608 kichosya@へ。

納税通知書の送付用封筒

令和6年度の税務納税通知書を送る封筒の裏面に掲載します。発行予定は19万部です。
市県民税・固定資産税・軽自動車税、各4枠(選考)。1枠、縦約40センチ×横約90センチで7万円。詳しくは市ウェブをご覧ください。
募集 市ウェブにある申込書を、郵送または直接、令和5年11月24日(金)までに、本館2階の納税課 ☎21-8769へ。

市営住宅の入居者
入居予定日は令和6年3月1日(金)です。次の条件を全て満たす方(抽選・単身世帯は②を除く)。
①申込者が18歳以上または既婚②夫婦または親子を主体とした家族③市内に1年以上在住④収入が基準以内⑤住宅困窮理由が市の条件に合う⑥市税などの滞納がない⑦住宅や土地を所有していない⑧申込者または同居しようとする親族が暴力団員ではない⑨など。詳しくは市ウェブをご覧ください。
募集 令和5年11月1日(水)～15日(水)に本館1階の案内窓

市営住宅の入居者

市有地の一時貸付
市が持つ未利用地を短期で貸し付けています。対象の土地や必要書類など、詳しくは市ウェブをご覧ください。
募集 市ウェブにある申込書を、直接、本館4階の資産経営課 ☎21-8763へ。

募集

応募方法は
下段

口や各公民館などにある申込書を、郵送で、15日までに、〒254-0042 明石町7-10 東急コミュニティ平塚市営住宅サービスセンター ☎74-4005へ。

就活パソコン入門講座

11月10日(金)午後1時～4時。勤労会館。15～49歳の仕事を探している雇用保険未加入の方10人(先着順)。筆記用具。
募集 電話で、県西部地域若者サポートステーション ☎0465-32-4115へ。

環境教室 海岸編

環境にやさしい生活やプラスチックごみの問題を学びませんか。好天時は海岸で漂着物を観察します(右下写真)。
11月25日(土)午前10時～11時30分。なでしこ公園(撫子原26-1)集合。市内在住・在学の小・中学生20人(抽選、保護者同伴・未就学児も同伴できます)。筆記用具・運動靴。

11月18日(土)午後1時30分～3時30分。北図書館(田村3-12-5)。市内在住・在勤・在学の中学生以上の方5人(先着順)。
募集 電話または直接、10月24



大人の職場体験in図書館

絵本の修理体験や、おはなし会で使う小道具作りなどをします。
11月18日(土)午後1時30分～3時30分。北図書館(田村3-12-5)。市内在住・在勤・在学の中学生以上の方5人(先着順)。
募集 電話または直接、10月24

11月22日(水)午後2時～3時30分。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方55人、会場受講は25人・オンラインでの視聴は30人(先着順)。
募集 講座名・会場受講かオンライン受講か・氏名(ふりがな)・電話番号を、会場受講は電話またはメールで、オンラインでの視聴はメールで、10月24日(火)から、市民情報相談課 ☎20-5775 jonson@へ。

木久蔵流! 家庭教育講演会
がんばらない子育て
仕事と子育て「これがわたしの二刀流」

落語家の林家木久蔵さん(写真)が、父・林家木久扇さんとのエピソードや、自身の子育て経験などを話します。講演の後半には落語もあります。要約筆記もあります。
12月7日(木)午後6時30分～8時。中央公民館。市内在住の方700人(抽選)。入場整理券・筆記用具。
募集 各公民館にある申込書を、直接、11月8日(水)午後5時までに各公民館へ。問い合わせは中央公民館 ☎34-2111へ。

安全で健康的な食生活のための食品表示講座
食品表示の基本や原料原産地・アレルギー・添加物・栄養成分の表示などを学びます。
11月22日(水)午後2時～3時30分。市民活動センター。市内在住・在勤・在学の方55人、会場受講は25人・オンラインでの視聴は30人(先着順)。
募集 講座名・会場受講かオンライン受講か・氏名(ふりがな)・電話番号を、会場受講は電話またはメールで、オンラインでの視聴はメールで、10月24日(火)から、市民情報相談課 ☎20-5775 jonson@へ。

チアダンス教室

ポンポンを持ち、音楽に合わせてリズムをとりながらダンスをします。11月18日(土)ひらつかサン・ライフアリー

はじめてのボタニカルアート
植物を観察し、精密に描くボタニカルアート教室です。
12月5日・12日・19日の火曜日、全3回、午後1時30分～3時30分。まちづくり財団。ボタニカルアートを初めて体験する、全3回参加できる18歳以上の方10人(抽選)。消しゴム、0.5mm(芯)ない場合は0.5mm(芯)のシャープペンシル。1500円。
募集 必要事項・年齢を、はがきで、11月8日(水)までに、〒254-0045 見附町31-10 まちづくり財団文化事業課 ☎32-237へ。

参加無料 **メンテナンスの時期かな?とお考えの方へ**
「失敗しない屋根・外壁塗装セミナー」

5,287人が参加済みの人気セミナー。他では手に入らない情報が得られます。
開催概要
【日付】10/28(土)14:00~15:30
【会場】平塚市勤労会館(平塚市追分1-24)
【参加費】無料(要予約)
▼ご予約はこちら
0120-1010-19
受付時間 9:00~19:00(土・日・祝もOK)
90秒で簡単! スマホから申込みOK
監修:小林知重
早稲田大学大学院応用化学科修士。工学博士。オハイオ州立大学博士研究員。50年以上続く塗料問屋の代表を務める塗料・塗装の専門家。

応募方法

- 募集応募方法 応募必須 問い合わせ
- 電子申請システム(e-kanagawa)で応募可
- 必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。
- 市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。
- 募集開始日の記載がない場合、10月23日(月)午前8時30分から、受け付けます。
- メールの応募の場合 k-kan@以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。

記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
住所	〒	イベント名	郵便番号
氏名		住所	住所
		全員の氏名	全員の氏名
		電話番号	電話番号
		その他の事項	その他の事項